

競 技 注 意 事 項

本競技会は 2020 年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項により実施する。

1. 競技場への入場について

- (1) 入場は各種目開始 2 時間前とし、正面玄関のみとする。
- (2) 退場はマラソンゲートと南西ゲートを使用する。再入場はマラソンゲートのみとし、入場には当日配布する入場許可証とアスリートビブスを競技役員に提示すること。
- (3) 無観客開催とするので、正面 2F メインスタンド入口は使用しない。

2. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方（東側）の練習走路を使用すること。
- (2) 競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。
- (3) 競技会開始前のトラックを利用しての練習は、3 日間ともに 8 時 30 分までとする。
[ホームストレート・バックストレート]
 - ・1・2 レーンは長距離周回練習 ・ジョグはレーン外
 - ・3～5 レーン＝コーナーからのスプリント練習 ・6～9 レーン＝直線からのスプリント練習※順番待ち等は密を避けるように距離を保って待つこと。
- (4) ハードル練習は競技開始前にハードル設置後に行うこと。バックスタンド後方の練習走路では禁止。

3. 招集について

- (1) 今回は競技開始 2 時間前～1 時間前に「健康状態申告兼体調管理チェックシート」を室内練習場内に設ける受付場所にて提出し、スパイクとアスリートビブスの確認を受けることで、一次招集完了とし、二次招集は現地招集とする。
- (2) 現地招集時間は、トラック競技 10 分前・フィールド競技 40 分前に開始とする。
※競技前の練習は密を避けるために競技役員の指示に従うこと。
- (3) 現地招集に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。
- (4) やむをえず欠場することになった競技者は、欠場届を競技開始 60 分前までに競技者係へ提出すること。
(用紙は各校で用意したプログラムにあるものを利用すること。)

4. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。
トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。
- (2) スパイクのピンは、9mm 以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については 12mm 以下とする。本数は 11 本以内。
- (3) 通信機器（携帯電話等）をトラックまたはフィールド内に持ち込んではいならない。
- (4) トラック種目では、すべてタイムレースとする。
- (5) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
- (6) 3000SC 10 分 30 秒を超える選手はレースを打ち切る。
- (7) フィールド種目について
 - ① トップ 8 は行わない。
 - ② 走幅跳・三段跳におけるカットラインは当日に跳躍審判長と主任で決定する。

③バーの上げ方は下記のとおりとする。※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。

- ・走高跳 男子 1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80 以降 3cm ずつ
女子 1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50 以降 3cm ずつ
- ・棒高跳 男子 2.60-2.80-3.00-3.20-3.40-3.60 以降 10cm ずつ
女子 2.00 以降 10cm ずつ

④砲丸投を除き、投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。

⑤投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。

(8) フィールド競技の試技制限時間（単独種目）

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

5. やり及びボール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫（メインスタンド下南側）で行う。

6. 各種目、6位入賞者に表彰状があるので、表彰係まで取りに来ること。

7. 競技場の使用について

(1) 通行禁止、使用禁止等の指示を厳守すること。

- ①声を出しての応援は禁止。
- ②南北の芝スタンド（土盛スタンド）の中段より下には、テントおよびシートを設置してはいけない。
- ③メインスタンド中段通路より下、メインスタンド屋根下には、テントを設置してはいけない。また、テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。記者席は場所取り禁止。
- ④競技役員および補助員以外は、フィールド芝生内への立入禁止。
- ⑤トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用禁止。
- ⑥横断幕・のぼりの設置はすべて禁止する。

(2) 更衣室の使用は6~10名以内で更衣のみとし、マスクを着用のうえ会話はしないこと。使用時間は1人5分以内とする。また清潔に使用し私物を置かないこと。

8. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の選手の出場は認めない。
- (2) プログラムは各校で印刷すること。
- (3) 競技中に起こった怪我は、応急処置の他は責任を負わない。
- (4) 記録は電光掲示板・HPで確認すること（記録ボードは設置しない）。
- (5) 全ての競技者は、競技終了後に手洗い場所で手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- (6) 盗難の発生や忘れ物が多いので、荷物等の管理は各校で十分注意すること。
- (7) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。
- (8) プログラム記載の個人情報(氏名、学校名など)および大会結果は、大阪陸上競技協会のウェブサイト

(高体連 3・4 地区、<http://www.oaaa.jp/kotairen/34chiku/>) に記載されますが、関係以外には一切使用しません。

大阪高等学校種目別選手権（中央大会）について

1. 中央大会への出場資格については大会要項に則る。
2. 中央大会の出場辞退について
 - ・決勝記録の発表後 1 時間以内に地区主任に辞退届を提出すること。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。今大会終了後の辞退は受け付けない。
 - ・辞退届が提出された場合があっても選手の補充は行わない。
3. 中央大会の出場者の通知は、高体連 HP を参照すること。
4. 中央大会への申込は、地区委員が行うので学校別に申し込む必要はない。しかし各校は、8 月 22 日（土）の学校受付時に、参加選手一覧表（男女別）を提出すること。また今回、参加料は事前振込です。地区予選時に配布された振込用紙で 8 月 21 日（金）までに振り込みを完了すること。
※参加料 個人種目 1 種目につき：500 円 八種競技：1000 円
5. 同記録が出た場合
 - ①トラック種目については規則第 167 条に従う（資料あり）。
 - ②走幅跳、三段跳、砲丸投、については、セカンド、サード記録で決定する。
 - ③円盤投、ハンマー投、やり投、走高跳については、抽選とする。

資料

規則第 167 条 同成績

2.（着順ではなく）時間を元にして 166 条 3（b）によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は 0.001 秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。

上記 規則により 1/1000 秒着差あり それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。